

次のとおり令和7年度(2025年度)の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 学科の特性や専門性を生かし、生徒の多様な学習ニーズに応えるとともに、学科間の連携を通して、高校教育として共通に求められる知識や技能を修得させる。(全日制)
- 協働する教職員組織の確立を図り、創意と活力に満ちた魅力ある学校づくりを目指す。(定時制)

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の教育課程を検証し、生徒の適性や進路希望を生かした教育活動の充実を推進する必要がある。 ・ 地域の教育力や教育資源を活用し、教育力の向上を図る必要がある。 ・ D X 関連の研修を充実させ、活用を促進することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケート・評議員の評価から本校の教育活動に一定の評価をいただいていることがうかがえる。 ・ 複数教科が設置されている特色を生かすことや高大連携等外部機関との連携や地域の教育力のさらなる活用が望まれる。
改善方策	学びの充実と進路実現に向け、教育課程の見直しを進める。ICT機器を活用した研修会を実施するなど、その活用を図る。ICT機器を効果的に活用できる校内体制の構築を進める。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の関係機関と連携しながら、生徒の主体的な活動を充実させる必要がある。 ・ 面談を効果的に実施し、得られた情報を学年、分掌間で横断的に共有する必要がある。 ・ いじめ防止に向けた、校内の連携をより一層、推進することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒は、心身共に成長している様子がうかがわれる。 ・ SNSの使用について、保護者と連携し、危険性を生徒に認識させる継指導が必要である。 ・ いじめに関する指導は、継続的に行っていくことが大切である。
改善方策	日常的な観察や面談から得られた情報を教職員全体で共有する。共通した生徒理解のもと、予防的な指導体制の充実を図る。今後も、自他を尊重する指導を進め、外部人材を活用しながら生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる体制づくりを推進する。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的な進路選択能力を身につけるための情報提供やその確保を進める必要がある。 ・ インタビュの充実に向け、対象者の拡大を検討するなどの取組みが必要である。また、事後指導を充実させることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生の進路実現は、現役生徒の励みになる。 ・ 複数回の説明会を実施するなど、進路指導が実施されている。 ・ 多様な進路希望を実現するための課外講習体制を充実させる必要がある。
改善方策	3年間を見通した指導計画に基くことで、生徒が主体的に自己の将来について考える姿勢を育成する。職業人による講話や専門学校、大学等の外部と積極的に連携を図り、学年に応じた指導の充実に努める。	
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季の高温対策を継続実施した。 ・ 生活環境や交友関係等、教育的サポートが必要な生徒が増加している。SCやSSWとの連携や情報共有が重要となっている。 ・ 危機管理マニュアルの点検・改訂を継続的に実施することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季の高温対策は、継続する必要がある。 ・ 教育相談体制のより一層の充実が大切である。 ・ 教育相談の連携体制充実のため、外部人材の活用を積極的に活用する。 ・ 不登校とならないような、予防的な指導も大切である。
改善方策	天候に応じた夏季の高温対策を継続する。各種事業を活用しながら、SCやSSWの外部人材を積極的に活用するとともに、関係機関との連携を密にし、教育相談体制を充実させる。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の活動をHPや保護者向けの連絡ツールを活用して発信することが重要となっている。 ・ 安全な学校生活を送るための環境整備が必要である。 ・ 職業学科の魅力発信を発信し、より理解を深めてもらえるよう、効果的な策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生徒の活躍する機会や日常の学校生活について、取組みを積極的に外部へ発信すべきである。 ・ メール配信サービスやHP等を活用し、自然災害等の際にタイムリーな情報提供を行う。 ・ 定時制課程の継続的な振興、支援も重要である。
改善方策	各行事や地域での取組を、今後もHPや報道機関を通じ、積極的に情報を発信する。また、学校紹介のパンフレットや学校説明会の内容を工夫し、各学科の魅力を中学生や地域へ発信する。地域の教育力を活用した授業実践や各行事への保護者の参加を促し、開かれた学校づくりに努める。	
公表方法	P T A 役員会で配付する。また、HPで公表する。	

3 添付資料

- ・ 令和7年度(2025年度)自己評価結果(教職員)(全日制・定時制)
- ・ 令和7年度(2025年度)学校関係者評価集計結果(保護者)(全日制・定時制)
- ・ 令和7年度(2025年度)学校関係者評価集計結果(学校評議員)